



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ

コード番号 9305 URL <http://www.yamatane.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永友 保則

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部門担当 (氏名) 安斉 正美

TEL 03-3820-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,754	△4.7	822	9.1	569	20.0	195	44.4
23年3月期第1四半期	13,390	△2.4	753	4.3	474	14.9	135	28.4

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 246百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.84	—
23年3月期第1四半期	1.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	86,479	20,781	21.8	177.61
23年3月期	85,715	20,866	22.1	178.28

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 18,878百万円 23年3月期 18,949百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	0.00	—	2.50	円 銭	2.50
24年3月期	—	—	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	2.50	円 銭	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	△0.5	1,700	9.2	1,140	19.3	520	341.1	4.89
通期	52,000	1.7	3,800	11.2	2,700	20.5	1,300	73.2	12.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	113,441,816 株	23年3月期	113,441,816 株
24年3月期1Q	7,151,675 株	23年3月期	7,150,494 株
24年3月期1Q	106,290,559 株	23年3月期1Q	106,296,508 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第1四半期の概況

当第1四半期の経営成績は、物流部門が堅調に推移したものの食品部門をはじめとする他部門で減収となり、売上高は127億54百万円（前年同期比4.7%減）となりました。営業利益は不動産部門等で減益となりましたが、物流部門の回復により、8億22百万円（同9.1%増）となりました。経常利益は支払利息の減少もあり5億69百万円（同20.0%増）となりました。この結果、四半期純利益は1億95百万円（同44.4%増）となりました。

②セグメント別の概況

<物流部門>

物流部門では、本年3月の震災の影響により停滞していた荷動きが活発化し、家電・飲料を中心に取扱いが増加したことから、売上高は48億10百万円（前年同期比8.4%増）となり、営業利益は6億51百万円（同16.3%増）となりました。

<食品部門>

食品部門では、量販・外食向けである精米販売は18千玄米トン（前年同期比12.1%減）と減少しましたが、一般小売店や他卸売業者向けである玄米販売は11千玄米トン（同34.7%増）となり、総販売数量は29千玄米トン（同1.3%増）となりました。売上高は販売単価の低下と精米販売の減少により67億76百万円（前年同期比10.4%減）となり、営業利益は1億18百万円（同6.5%減）となりました。

<情報部門>

情報部門では、震災により顧客の開発案件が延期となる等の要因から売上高は3億6百万円（前年同期比12.0%減）となり、営業損益は85百万円の損失（前年同期は52百万円の損失）となりました。

情報部門では棚卸用ハンディターミナルのレンタル業務及び棚卸代行業務を主力事業と位置付けておりますが、当該業務には季節変動要因があるため、第2、第4四半期に売上・利益とも増加する傾向にあります。

<不動産部門>

不動産部門では、引続き一部テナントの解約の影響が残り、また、「ヤマタネビル新館」建設用地で運営していた駐車場収入の減少等から、売上高は7億32百万円（前年同期比9.7%減）となり、営業利益は3億9百万円（同16.4%減）となりました。

<金融・証券部門>

金融・証券部門では、金融（商品先物）部門の事業撤退の影響により、売上高は1億28百万円（前年同期比44.9%減）と減少し、営業損益は証券市場の市況低迷の影響から41百万円の損失（前年同期は1億24百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

資産合計は、有形固定資産が増加したこと等から、前連結会計年度末比7億64百万円増加し、864億79百万円となりました。

②負債

負債合計は、短期借入金が増加したこと等から、前連結会計年度末比8億49百万円増加し、656億98百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、配当金の支払により利益剰余金が減少したこと等から、前連結会計年度末比85百万円減少し、207億81百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、物流部門が堅調に推移したこともあり、ほぼ計画通りに推移しています。第2四半期におきましては、平成23年産米の動向が食品部門の収益に影響を及ぼす可能性があり、証券部門では今後の市場動向に大きく影響を受ける可能性があります。これらの不確定な要因はありますが、平成23年5月13日発表の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,890	2,873
受取手形及び売掛金	6,222	6,149
たな卸資産	923	1,078
その他	1,836	1,728
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	11,865	11,823
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,126	12,881
土地	46,494	46,494
その他(純額)	6,453	7,384
有形固定資産合計	66,074	66,760
無形固定資産		
投資その他の資産	1,154	1,244
投資その他の資産		
投資その他の資産	6,324	6,377
貸倒引当金	△97	△97
投資その他の資産合計	6,226	6,279
固定資産合計	73,455	74,284
繰延資産	394	371
資産合計	85,715	86,479
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,040	2,103
短期借入金	8,050	8,487
1年内返済予定の長期借入金	7,159	7,947
1年内償還予定の社債	1,537	1,437
災害損失引当金	72	44
その他	2,286	2,691
流動負債合計	21,146	22,711
固定負債		
社債	20,106	20,106
長期借入金	9,723	8,804
退職給付引当金	1,860	1,823
役員退職慰労引当金	155	130
環境対策引当金	121	121
その他	11,731	11,998
固定負債合計	43,699	42,985
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	3	1
特別法上の準備金合計	3	1
負債合計	64,849	65,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,775	3,775
利益剰余金	4,362	4,292
自己株式	△1,809	△1,809
株主資本合計	16,883	16,813
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	682	681
土地再評価差額金	1,382	1,382
その他の包括利益累計額合計	2,065	2,064
少数株主持分	1,916	1,902
純資産合計	20,866	20,781
負債純資産合計	85,715	86,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	13,390	12,754
営業原価	11,607	11,080
営業総利益	1,782	1,674
販売費及び一般管理費	1,029	852
営業利益	753	822
営業外収益		
受取配当金	48	49
その他	11	7
営業外収益合計	60	56
営業外費用		
支払利息	316	285
その他	22	23
営業外費用合計	339	309
経常利益	474	569
特別利益		
固定資産売却益	0	2
金融商品取引責任準備金戻入	1	1
商品取引責任準備金戻入額	6	—
退職給付制度終了益	19	—
未払費用戻入額	—	7
その他	0	0
特別利益合計	28	11
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	—
特別退職金	—	10
その他	1	1
特別損失合計	45	11
税金等調整前四半期純利益	457	568
法人税等	266	320
少数株主損益調整前四半期純利益	191	247
少数株主利益	55	52
四半期純利益	135	195

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191	247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△296	△1
その他の包括利益合計	△296	△1
四半期包括利益	△105	246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146	194
少数株主に係る四半期包括利益	41	51

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	4,435	7,561	348	811	233	13,390	—	13,390
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	156	—	49	21	0	227	△227	—
計	4,592	7,561	397	832	233	13,618	△227	13,390
セグメント利益 又は損失(△)	560	126	△52	370	△124	879	△126	753

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△129百万円及び未実現利益調整額3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流 関連	食品 関連	情報 関連	不動産 関連	金融・証券 関連			
売上高 外部顧客への 売上高	4,810	6,776	306	732	128	12,754	—	12,754
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	146	—	48	6	0	201	△201	—
計	4,956	6,776	354	739	128	12,956	△201	12,754
セグメント利益 又は損失(△)	651	118	△85	309	△41	952	△129	822

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△133百万円及び未実現利益調整額3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。